

あじさいプラン2016（平成28年度千種区区政運営方針）取組結果

＜評価について＞

A…目標を上回る成果があった

B…ほぼ目標どおり

C…目標を下回った

D…未実施

重点推進施策1 地域で支えあうまちづくり

1－I 安全で安心して暮らせるまち

施策 ① 地域ぐるみで防災力を高めます

取組名	取組結果	評価
(1) 大規模地震への備え ① 避難所開設・運営訓練を実施します 目標：全15学区で実施	① 避難所開設・運営訓練を実施します ・防災訓練等にあわせて、11学区で実施。 ・千種区指定動員職員を対象に、避難所開設時の職員派遣に備えた研修を実施。	C
	② 出張！家庭の防災教室を実施します ・学区や町内会、事業所などで計120回実施し、延べ13,003人が参加。（前年度比 約1,000人増）	A
(2) 防災訓練	・9月に千種区総合防災訓練を自由ヶ丘小学校で実施したのをはじめ、その他13学区で地域住民との協働により防災訓練を実施し、延べ2,610人が参加。	B
(3) 助け合いの仕組みづくり	・平成29年3月末で、9学区及び1町内会と避難行動要支援者に係る個人情報の保護に関する協定を締結。	B
(4) 防災リーダーの育成	・全15学区中、6学区で、災害対策委員の役割、避難所運営等についての講義等を通じて防災リーダー210人を育成。	C
(5) ちくさ子ども防災キャンプ 【新規・千種区独自】	・8月27日～28日にかけて、東山小学校で実施。（参加者：小学4年～6年生と保護者34組68人） 段ボールを使用した避難所でのプライベート空間づくりなど、実践的な宿泊体験を実施。	B
(6) 地下式給水栓アドバイザー 【新規】	・12月に水の歴史資料館で講習会を実施。 （参加者：8学区13人）	B
(7) 救命講習 目標：受講者180人	・応急手当についての知識、技術を広く区民に普及するため、消防職員及び応急手当普及員の資格を持つ消防団員により、救命講習（入門コース7回、普通救命講習7回、一般救急講習10回、受講者延べ388人）を実施。	A

施策 ② 交通安全や防犯活動への取り組みを推進します			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	交通安全啓発活動の推進 目標： ① 高齢者を対象とした交通安全講話を全15学区で実施 ② 交通事故多発地域における交通安全啓発活動の実施	・幼稚園・保育園（12園）、小学校（15校）、高齢者（6学区）で交通安全教室を実施。 ・高校でハンドブック及びポスターを活用して自転車安全利用啓発を実施。 ・区内6大学及び5専門学校へ飲酒運転根絶等のリーフレット等を配布。 ・春、夏、秋、年末の市民運動期間に、自動車学校、商業施設、交差点などで啓発活動や啓発物品の配布及び広報車による広報活動を実施。 ・9月20日に、交通安全総決起大会を開催。 ・新たな取り組みとして、地域・小学校・行政が一体となって、下校時の小学生へ交通安全指導及び見守り活動を行う「子ども交通安全下校」を実施。	B
(2)	地域コミュニティの活性化	・市外転入者に市民課窓口で町内会・自治会加入促進リーフレットを配布。 ・広報なごやで、町内会・自治会の活動を紹介するとともに、加入の呼びかけを実施。 ・町内会・自治会への加入促進及び地域コミュニティの活性化を図ることをテーマに、「町内会・自治会について考える交流会～加入率向上に向けて～」を開催。（参加者：47名）	B
(3)	防犯活動の推進 目標： ① 学区と協働した防犯キャンペーンを全15学区で実施 ② 高齢者向け防犯講話等を全15学区で実施	・学区と協働した住宅対象侵入盗防止キャンペーンや自転車盗難防止ツーロックキャンペーン等を全15学区で実施。 ・振り込め詐欺被害防止キャンペーンを実施。 ・青色回転灯装備車による青色防犯パトロールを27回実施。 ・高齢者向け防犯教室を全15学区で実施。 ・刑法犯認知件数の減少に貢献。（前年度比 13.2%減）	A

施策 ③ 子どもや高齢者を区民全体で見守ります			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	こあらっち見守り大作戦の推進【千種区独自】 目標： 協力民間事業者150社以上	・新たに、商店街、自動車ディーラー、こども110番の家、薬剤師会等に協力を求め、約1,200件の事業者にステッカーやのぼりを配布。	A
(2)	千種区子ども安心週間【千種区独自】	・夏と冬に、千種区子ども安心週間（各2週間）を実施。 ・子ども安心週間の期間中に、広報車によるパトロール活動（計10回）を実施。また、各学区の夜間等パトロール（計5回）に参加。 ・12月に、冬の青少年育成区民大会を実施し、約300人が参加。 ・こあらっちぬり絵と啓発用ポスターを募集し、応募作品（ぬり絵348点、ポスター 38点）を区役所あじさいひろばで展示。 ・小学校1、2年生全員（2,648人）に、防犯ドリルを配布。28年度は対象を市立小学校に加え、私立小学校にも拡大。	A

1-Ⅱ 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち

施策 ① 高齢者の安心してはつらつとした生活を応援します			
取組名		取組結果	評価
(1)	高齢者の健康支援	・一般高齢者を対象に介護予防普及啓発事業であるいきいき教室（拠点型）（27回、参加者延べ566人）を実施。 ・地域住民が主体的に行ういきいき教室（出張型）や地域サロン活動等支援事業に関して運営等の活動支援を実施。（103回、参加者延べ1,364人）	B
(2)	高齢者の活動応援	・各種スポーツ大会（4回、参加者延べ528人）を実施。 ・10月に作品展（来場者550人）や1月に健康講演会（参加者200人）、2月に演芸大会（参加者350人）を実施するなど、年間を通じて千種区老人クラブ連合会活動を支援。	B
(3)	高齢者の見守り活動支援	・5月に、区老人クラブ連合会の友愛訪問事業推進のため、区長表彰を実施。 ・12月に、「千種区高齢者見守りネットワーク連絡協議会」を開催し、連携強化に努めた。（新たな会議構成員に千種郵便局が加入：18業者） ・2月に、「民生委員児童委員とケアマネジャーとの交流会」を開催。	B
(4)	認知症の予防と正しい知識の普及	・認知症地域連携の会と連携して、市民講座（毎月1回、参加者延べ1,000人）、専門職研修会（毎月1回、参加者延べ354人）、市民シンポジウム（11月、参加者200人）を実施。 ・10月の区民まつりで、はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練（参加者227人）を実施。 ・都福祉会館と連携して、出前回想法を2回（5月と11月、参加者延べ31人）、懐かしの映画会と回想法（12月、参加者200人）開催。 ・3月に、認知症の人とその家族を地域で支えるまちづくりを推進するために、エーザイ（株）と協定を締結。	B
(5)	なごやか収集	・一定の要件を満たした高齢者や障害のある方を対象に、ごみや資源を玄関先で収集する排出支援を実施。（29年3月末現在の排出支援世帯272世帯）	B
施策 ② 障害のある方の自立と社会参加を応援します			
取組名		取組結果	評価
(1)	障害や障害のある方への理解の促進	・毎月、障害者自立支援協議会の定例会、専門部会を開催。 ・2月に、障害者差別解消法に関する研修会と障害に関する啓発映画会（参加者180人）を開催。 ・千種区障害者福祉事業所マップを更新。 ・千種区障害者福祉事業所ガイドブックを改訂。	B
(2)	授産製品の販売促進	・区役所あじさいひろばで、授産製品の常設展示やお弁当、パンの販売を実施。新たに11月からは野菜の販売も開始。 ・3月に、あじさいひろばで授産製品の特別販売を実施。 ・授産製品販売業者に対する販売先の紹介。（庄内緑地公園のイベントに出店）	B

施策 ③ 子育て家庭を応援します			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	エンゼル訪問（赤ちゃん訪問）【千種区から全市へ】 目標：対象者100%訪問	・生後3か月から6か月の第一子の赤ちゃんのいる家庭に加え、市外転入した生後6か月から1歳未満の第一子の赤ちゃんのいる家庭に対しても独自に訪問を実施。（749件中723件（うち転入者54件中53件）訪問、訪問率96.5%）	B
(2)	子育て家庭の交流支援 ①子育てサロン 目標：全15学区で実施 ② 子育て広場 目標：年8回開催 ③ 転入者のつどい～こあらっち広場～ 目標：年4回開催 ④ 健診時のおはなし会 目標：3歳児健診 年30回 1歳6か月健診 月1回開催	① 子育てサロン ・学区主催の子育てサロンが全15学区で開催。 ・内容を充実させるため、子育てネットワークちくさによる支援（4学区）、区独自の補助金の交付（6団体）を実施。	B
		② 子育て広場 ・保育園など区内の子育て支援機関が連携して、子育て広場を1回（参加者225人）、ミニ子育て広場を7回（参加者計1,293人）開催し、子育て家庭の交流の場を提供。	B
		③ 転入者のつどい～こあらっち広場～ ・市外転入者を対象として年4回、区内の子育てに関する情報提供及び転入者同士の交流会（参加者計81組173人）を実施。	B
		④ 健診時のおはなし会 ・千種図書館と連携し、全ての3歳児健診（30回、参加者計671人）と1歳6か月児健診（12回、参加者計1,248人）で実施。	B
(3)	ふれあい思春期セミナー	・民生委員、児童委員など地域の役員や子育て中の親子との協働で、 <u>小学校9校</u> （参加者581人）で講話、お産劇、体験学習（乳幼児とのふれあい体験、妊婦・子宮体験）等を実施。 <u>（前年度比 小学校1校増）</u>	A
(4)	児童虐待の防止 【拡充】	・児童虐待防止推進月間（5月、11月）を中心に、各種広報、啓発活動及び子育て講習会を実施。 ・関係機関との会議で、虐待防止施策の共有、事例検討、講習等を実施し、各機関との連携強化。	B

施策 ④ 地域における健康づくりを応援します			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	健康づくり活動の推進	・ロコモ予防教室を開催（1コース2日を2回、参加者延べ63人） ・新たに保健環境委員を対象とした健康づくり事業を11学区（参加者317人）で実施し、地域における健康づくりを推進。 ・コミセンなど10会場で、地域健康づくり事業（参加者計186人）を実施。 ・地域のイベント会場で、出張健康相談（3回、参加者計339人）を実施。	A
(2)	出張がん検診	・検診車による乳がんの検診を、4か所（5回、受診者計195人）で実施。	B

重点推進施策2 千種区の魅力を活かしたまちづくり

2-I 誰もが愛着をもてるまち

施策 ① 歴史や自然と触れ合うまちづくりをすすめます			
	取組名	取組結果	評価
(1)	千種まちかど発掘事業 【拡充】	・7月に、「城山・覚王山写真展」を区役所あじさいひろばで開催。 ・11月に、「揚輝荘の秋を楽しむ～アートと音楽と講演会～」(梶山女学園大学アート展示とワークショップ、蓄音器コンサート、歴史講演会)、「城山の紅葉を楽しむ～まちの魅力をみつけよう～」(まちあるきイベント、茶会、歴史講話・講演会)を開催。 ・スマートフォンアプリを活用したまちあるき企画を実施。 (「ちくさ・スマホで『水』コースめぐり」、「ちくさ・スマホで銘板まちあるき」) ・ボランティアカメラマンを新たに7名登録(登録者計10名)し、各種イベントの広報活動に参画。	B
(2)	アジサイいっぱい運動 【千種区独自】 目標：植栽300株以上	・6月の千種区アジサイ月間をPRするとともに、写真の募集や写真撮影講習会を開催し、区役所あじさいひろば(8月)や星ヶ丘ギャラリー(9月)で展示。 ・茶屋ヶ坂公園において、アジサイ剪定講習会(7月)や寒肥講習会(1月)を実施。 ・区内公所、公園等に、アジサイ計380株を植栽。	B
(3)	自然観察会	・4月と11月に、自然観察会(参加者延べ43人)を実施し、区内の自然環境を活かし、生物多様性への理解を深めていただく機会を提供。	B
施策 ② 元気で、皆がつながる、温かいまちづくりをすすめます			
	取組名	取組結果	評価
(1)	千種区民まつり 目標：参加者満足度100%	・10月2日に、平和公園メタセコイア広場で開催。防災をテーマに消火器体験やはしご車試乗などを実施。 (参加者35,000人、満足度99.3%)	B
(2)	文化芸術活動の振興	・5月と10月に、華道協会と連携して生け花展(入場者延べ930人)を開催。 ・10月に、区民美術展(出展作品計129点、入場者延べ392人)を開催し、区ウェブサイトに入賞作品を掲載。 ・開園80周年を迎えた東山動植物園の思い出を題材とした俳句・川柳コンクールを開催し、(応募：俳句部門85句、川柳部門130句、子ども部門275句)区ウェブサイトに入賞作品を掲載。	B
(3)	生涯スポーツの振興	・年間を通じて各種スポーツ大会(参加者延べ4,327人)を開催。新たに小学生ドッジボール大会を開催。 ・区ウェブサイトで、大会の年間計画や試合結果を入賞者の写真付で掲載。	B

施策 ③ 親しみやすく特色のある情報を発信します			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	マスコットキャラクター「こあらっち」のPR 目標：区民認知度50% 年間出動回数60回	・区のイベントやキャンペーン、地域や他区のイベント等8年間46回参加してこあらっちをPR。（認知度37.4%） ・来庁者を出迎えるため、区役所あじさいひろばに「こあらっち」を展示。	B
(2)	千種区の魅力紹介映像作成 【千種区独自】	・名古屋市立大学と協働して、区内の水にまつわる名所をテーマに千種区の魅力スポットを紹介するDVD「こあらっちのお散歩レポート第3弾」（約8分間）を作成し、8月に「水の歴史資料館」にて完成上映会を実施。 ・映像を区役所あじさいひろばで毎日放映し、また、区役所以外の市民利用施設（図書館、生涯学習センター、香流橋プール、東山スカイタワー、星ヶ丘自動車学校、星ヶ丘ボウル）でも放映。 ・Youtube、区ウェブサイト、区Facebookで映像を公開。	B
(3)	あじさいひろば	・千種区の魅力紹介映像や防災啓発ビデオ映像を放映。 ・「アジサイ写真展」、「城山・覚王山写真展」や「犯罪被害者等支援パネル展示」など、年間を通じて、作品やパネルの展示を行い、各種イベントを実施。 ・また、<u>オリンピック開催期間にあわせ、千種区にゆかりのある「前畑秀子展」を実施。</u>	A

2-Ⅱ 快適で、環境にやさしいまち

施策 ① きれいで気持ちが良いまちづくりをすすめます			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	空家の適切な管理の推進	・ 地域の方より情報提供のあった空家について、現地調査を実施。 ・ 関係公所による千種区空家等対策プロジェクトチーム会議を2回開催し、情報共有と文書等による所有者への適切管理を依頼。	B
(2)	空地をきれいにする運動 目標：空地の除草実施率 95%以上	・ 6月から、各学区の協力を得て、空地をきれいにする運動を進め、空き地の草刈りや樹木の剪定を要請、区内の空地88箇所中83箇所まで対応済み。（実施率94.3%）	B
(3)	ペットの飼い主マナーの向上 【拡充】 目標：おさんぽ教室を年2回以上開催	・ 千種わんだフルサポーターに875人（累計）が登録。 ・ 職員によるパトロールや学区等との協働によるパトロール（計18回）を実施。 ・ なごやかキャットサポーターに39人（累計）が登録。 ・ おさんぽバッグの配布。（3,510件） ・ マナー教室を5回（内おさんぽ教室2回）開催。 ・ 猫の首輪等の配布。（107件）	B
施策 ② 環境にやさしいまちづくりをすすめます			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	千種区クリーンキャンペーン	・ 6月に、全15学区（参加者計1,493人）で、小学校や公園を中心にクリーンウォーキングや啓発活動を、区民との協働で実施。	B
(2)	緑のカーテンの普及	・ 省エネ等の環境保全に理解と関心を深めてもらうため、5月に、緑のカーテンづくり講習会（参加者21人）を実施。	B
(3)	資源・ゴミの分別等の周知	・ 広報なごやと区役所1階行政情報モニターに、資源・ごみの分別方法等について毎月掲載。 ・ 3月22日から4月11日まで、区役所にごみ案内所を設置し、転入者を中心にごみの分別についてPR。 ・ 小学4年生を対象に、ごみ分別を学んでもらう出前講座を3回開催。 ・ 6月と11月に、ごみの分別マナーアップキャンペーンを実施。 ・ 10月よりスプレー缶類排出時の穴あけを不要としたことに伴い、収集作業時におけるスプレー缶類の適正排出に関する啓発・指導を実施。 ・ 家庭内から排出される水銀体温計、水銀温度計及び水銀血圧計のモデル回収を11月中旬より約2か月間実施。	B

重点推進施策3 利用しやすい、信頼される区役所づくり

3-I 区民サービスの向上、親しまれ、信頼される区役所

施策 ① お客さまの立場になって親切で丁寧な対応に努めます

	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	窓口環境の整備	・フロア案内体制を繁忙期に充実させるなど、待ち時間短縮に向けた対策を実施。 ・1階市民課、保険年金課の待合スペースの床面案内表示を来庁者にわかりやすくなるよう変更。 ・なごやかな雰囲気づくりのため、千種区華道協会の協力により、1階に生け花を展示。	A
(2)	接遇の向上	・4月に、全所属において接遇・CS向上宣言を策定し、年間を通じて実践。 ・11月に、窓口アンケート（満足度95.8%）を実施。 ・外部講師による接遇研修を、9月（CS向上研修、参加者12人）と11月（窓口コミュニケーション研修、参加者10人）に実施。	B

施策 ② 職員一人ひとりが意識改革に努め、業務改善に取り組みます

	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	業務改善 目標：すべての部署で実施	・すべての部署で業務改善の取組を実施。 ・保健所が実施した「お任せ下さい。届出事務～新規採用職員が市民ファーストで考える～」が、なごやかカップ（改善事例発表大会）で最優秀賞を受賞。	A
(2)	庁舎内環境の改善	・庁舎内すべての洋式トイレに乳幼児チェアと幼児用簡易便座を設置し、利用者の利便性を向上。 ・区役所2階和式トイレを洋式に変更。	A

3-Ⅱ 情報の提供・区民ニーズの把握

施策 ① 区政に関する情報提供を充実します			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	広報なごや（区版） 目標：掲載内容の満足度 95%以上	・毎月、その時期にあった話題を特集するとともに、6月、8月、12月に、コラム記事（こあらっちレポート）を掲載するなど、身近で役立つ情報をわかりやすく提供。（掲載内容の満足度89.2%）	B
(2)	区ウェブサイト 目標： ①記事更新件数前年度比10%増 ②アクセス数前年度比10%増	・区ウェブサイトの記事更新件数は、164件で前年度比30%減、アクセス件数は、前年度比微減。 ・Facebookの記事は110件更新。 ・掲載内容の満足度81.9%	C
(3)	学区広報坂等の活用	・ポスターを学区掲示板に掲出したり、チラシを町内会や自治会で回覧するなどして、防災、防犯、交通安全等の各種行政情報を広く周知。	B
施策 ② 区民の皆さまのご意見をきちんとお聴きします			
	取 組 名	取 組 結 果	評 価
(1)	区民意識調査 （区民アンケート）	・区内在住の満18歳以上の男女2,000人に無作為抽出でアンケートを実施。 ・アンケート結果に基づき、次年度のあじさいプラン2017の策定に向けた方針づくりに活用。	B
(2)	学区担当制	・各学区を担当する職員を決め、学区の防災訓練や敬老会、成人式等に参加。 ・あじさいプラン2016の学区連絡協議会での説明などに併せて、地域の要望事項の把握に努めた。	B
(3)	千種区区民の集い （区民会議）	・7～8月にかけて、「区民ブロック会議」を開催。 （南西部25人、南東部40人、北部30人参加） ・11月19日に公募により「区民の集い」を開催。 （参加者：区内在住12人、在勤2人、在学15人）	B